

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）
2019年度（令和1年度）第4回理事会 議事録

[1] 開催：2019年12月6日（金）13：03～19：10

[2] 場所：JTU事務局（東京都新宿区）会議室

[3] 出席（理事25名、監事2名）：

岩城光英、國分孝雄、森崎俊紘、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、
飯島健二郎、鈴木貴里代、山倉紀子、村瀬訓生、和田知子、山根英紀、富川理充、
豊岡正康、大関辰郎、園川峰紀、山倉和彦、小林洋、吉田隆雄、宮本悦子、
大野徹雄、須山浩光、加納修二、宮城直久（以上、理事）

荻原政吉、秋山智昭（以上、監事）

- ・ 専門委員出席（3名）中山俊行（オリンピック対策チームリーダー）、
齊藤大輝（エイジグループ普及委員長）、相澤義和（コーチ委員長）
- ・ 事務局出席（4名）佐藤政人、坂田洋治、児玉健太、島村直子

[4] 議事の経過

JTU 定款第6章（理事会）第34条（決議）により、事務方が出席理事ごとに確認し、定足数を満たしていることを報告した。慶弔の儀を行った後に、定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶の後、定款第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

第1号議案）前回理事会の議事録

2019年度第3回理事会の議事録案について、メール回覧済であることを事務方が報告した後、質疑などなく議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・ 承認事項）2019年度第3回理事会（2019年9月19日開催）の議事録案

第2号議案）JTU倫理規程の変更

JTU 倫理規程を倫理コンプライアンス規程とする変更案について、中山常務理事から説明、秋山監事から文言追加指摘があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・ 承認事項1）JTU 倫理規程を倫理コンプライアンス規程とする変更案
- ・ 修正箇所）次の★印箇所に「かつ」を加える。第8条（処分内容と罰則）5. 所属加盟団体の調査の結果、違反の事実が当事者の故意ではなく★かつ軽微な場合に

は、警告、注意、教育的指導又はボランティアなどの社会奉仕活動の要請等をおこなう。

・ 主要変更箇所

- 1) 倫理とコンプライアンスは基本内容が同一であり、倫理規程を倫理コンプライアンス規程とする。
- 2) 案件が発生した加盟団体に初期的対応を求めするために、通報相談処理規程の骨子部分を流用した第7条を追加。
- 3) JTU 諸規程の各処分内容・罰則を第8条に一括表記。
- 4) JTU 競技規則第146条（仲裁）にある公益財団法人日本スポーツ仲裁機構を第13条（仲裁）に追加。
- 5) 倫理コンプライアンス規程第3条（相互尊重の精神と遵守事項）（3）を「アンチ・ドーピング規則に反する行為」と「アンチ・」を追加する。*後日の指摘による。

・ 補足事項

説明のあった「JTU 倫理コンプライアンス規程の選手向け説明文案」を JTU サイトに掲載する。

<https://www.jtu.or.jp/news/2020/01/24/5910/>（2020年1月24日 JTU サイト掲載）

第3号議案) JTUガバナンスコード策定プロジェクト

中央競技団体向けのガバナンスコードにおける適合性審査及び自己説明書類は、2020年7月にJOC、JPC、JSP0へ提出を求められていることが報告された。

JTUとしてガバナンスコードを策定するための進捗について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・ 承認事項) JTUガバナンスコード策定プロジェクト対応スケジュール
- ・ 説明骨子)

JTU ガバナンスコード策定PJチームの会議（第1回 2019年11月14日、第2回 2020年2月19日）での方針案制定後、次回理事会（2020年3月25日）で審議する。その後、2020年度定時社員総会でJTUガバナンスコードを提案する。

第4号議案) 日本トライアスロン連合の名称変更方針

国際トライアスロン連合（ITU）の名称が、2020年から「World Triathlon: ワールドトライアスロン」となる。これを受け、日本トライアスロン連合の名称を「公益社団法人トライアスロンジャパン」とする案について、大塚専務理事から説明が

あった。本変更案は引き続き議論を重ね、次回理事会（2020年3月25日）で審議し、承認された場合、2020年度定時社員総会に諮ることについて、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項）公益社団法人日本トライアスロン連合を「トライアスロンジャパン」とする案を次回理事会（2020年3月25日）で審議を行う。

・補足事項）一般社団法人日本ローラースポーツ連盟（JRSF）が一般社団法人ワールドスケートジャパンに商号変更を実施した事例等が補足された。

<https://worldskatejapan.or.jp/>

第5号議案）第32回オリンピック競技大会（2020/東京）強化関連

東京2020オリンピック代表選手選考への日程、選考委員案、選考手順等について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

・承認事項1）第32回オリンピック競技大会（2020/東京）トライアスロン競技代

表選手選考会議日程

- ・2020年5月11日（月）ITU 個人オリンピック出場資格ランキング終了
- ・5月12日（火）～13（水）オリンピック対策チーム会議
- ・5月14日（木）2020東京オリンピック競技大会・トライアスロン競技代表選手選考委員会
- ・5月15日（金）JTU臨時理事会
- ・5月29日（金）JOC日本選手団推薦名簿の提出締切

・承認事項2）第32回オリンピック競技大会（2020/東京）トライアスロン競技代

表選手選考委員会構成

大塚眞一郎（JTU専務理事）、中山正夫（JTU常務理事）、湯尻淳也（弁護士＊外部有識者）、原田宗彦（JTU顧問・大学教授＊外部有識者）、関根明子（JTU理事＊オリンピック）、田山寛豪（JTU事業企画委員＊オリンピック）、日本水泳連盟、日本自転車競技連盟、日本陸上競技連盟、日本オリンピック委員会から若干名

・補足）小原工 JTUオリンピック対策チームU15コーチ（オリンピック）の委員就任案があり、支配下選手に係る中立性の観点から、次回理事会（3月25日）で再審議することとなった。

- ・承認事項3) 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)トライアスロン競技日

本代表選手・選考基準選考対象大会の日程更新

- ・説明骨子) 選考対象大会の開催日未定であった大会情報と競技距離の変更箇所等を更新

凡例: *スタンダードディスタンス(STD)、スプリントディスタンス(SP)、スーパープリントディスタンス(SSP)

- ・2020年3月6日; アブダビWTS(アラブ首長国連邦) SP
- ・4月18日~4月19日: バミューダWTS(バミューダ諸島) STD
- ・3月7日: アブダビMRS(アラブ首長国連邦) SSP
- ・5月10日: 成都W杯(中国) SP
- ・4月26日: ASTC アジアトライアスロンミックスリレー選手権(廿日市)
- ・2月1日: JTU 男子ミックスリレー特別大会(宮崎) SSP 4
- ・4月11日: JTU 男子ミックスリレー特別大会(宮崎) SSP

- ・承認事項4) 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)トライアスロン競技に向けた実施計画(案)

・説明骨子) Tokyo 2020 ファイナルチャレンジプロジェクトとして、選考前、選考後にフェーズを分け強化推進を計画について、説明された。

- ・承認事項5) 2020 JTU エリート女子強化支援事業(追加支援案)

・説明骨子) 東京2020に向けた実施計画に基づき、女子個別強化支援策として、ITU個人オリンピック出場資格ランキング

100位以内の選手を対象に個別合宿及び大会派遣の支援制度。

第6号議案) 2020以降の強化方針の策定指針骨子(案)

2021年以降を見据えた強化方針の策定方針について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項) 2020以降の強化方針の策定指針骨子(案)

・説明骨子) 2024-2032に向けた、次の強化体制を2020年5月にスタートを行う。

東京2020大会での知見を活かすために、2020年5月にプランの確定、9月にオリンピック・パラリンピックの新チームを立ち上げる。地域と連動を行い、発掘・育成・強化の推進を目指す。

第7号議案) オリンピック対策チーム関係

2020年オリンピック対策チームの各種強化制度・選考出場基準等について、大塚専務理事から説明、中山リーダーから補足説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項1) 2020年JTUトライアスロン・エリート強化指定選手制度
- ・承認事項2) 2020年ITUトライアスロン公式大会JTU出場推薦基準
- ・承認事項3) 2020年JUTトライアスロン公式大会出場推薦基準
- ・承認事項4) ASTCアジアトライアスロン選手権(2020/廿日市)エリート選考基準
- ・承認事項5) 2020年JTUジュニア強化指定選手制度
- ・承認事項6) ITU世界U23トライアスロン選手権選考基準(2020/エドモントン)
- ・承認事項7) ITU世界ジュニアトライアスロン選手権選考基準(2020/エドモントン)
- ・承認事項8) ASTCアジアU23トライアスロン選手権選考基準(2020/廿日市)
- ・承認事項9) ASTCアジアジュニアトライアスロン選手権選考基準(2020/廿日市)
- ・承認事項10) 日本トライアスロン選手権(2020/東京・台場)出場基準
- ・承認事項11) 日本U23・U19・U15選手権出場基準
- ・承認事項12) 2020NTTトライアスロン・ジャパンランキング
- ・承認事項13) 2020JTUトライアスロン・ジュニアランキング
- ・承認事項14) 2020年エリート強化指定選手強化費制度

第8号議案) パラリンピック対策チーム関係

2020年パラトライアスロン強化指定制度について、富川リーダーから説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項1) 2020年JTUパラトライアスロン強化指定選手制度
- ・承認事項2) 2020年JTUパラトライアスロン強化指定選手
- ・承認事項3) 2020年JTUパラトライアスロン育成強化指定選手制度
- ・承認事項4) 2020年JTUパラトライアスロン育成強化指定選手
- ・承認事項5) ITU世界パラトライアスロン選手権(2020/ミラノ)・2020ITU世界パラトライアスロンシリーズ(WPSs)・2020ITUパラトライアスロンワールドカップ(PWCs)選手選考基準
- ・承認事項6) ASTCアジアパラトライアスロン選手権(2020/廿日市)選手選考基準
- ・承認事項7) PTVI選手のガイド候補者の発掘・育成のための公募
- ・承認事項8) JTUパラリンピック対策チーム、メンバー再編成

第9号議案) マルチスポーツ対策チーム関係

2020年マルチスポーツ対策チーム出場基準について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項1) 2020年ITU世界ロングディスタンス・デュアスロン選手権出場基準
- ・承認事項2) 2020年日本ロングディスタンス・デュアスロン選手権出場基準
- ・承認事項3) 2020年JTU主催共催ロングディスタンストライアスロン大会エリート出場基準
- ・承認事項4) 日本デュアスロン選手権(2020/未定)エリート・U23・ジュニア出場基準

第10号議案) エイジグループ普及委員会

2021ITU世界・アジアエイジグループ選手権日本代表選手エントリー基準、2020年度JTUエイジランキング対象大会申請ガイドライン及びランキングシステムの改定について、斉藤エイジグループ普及委員長から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項1) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・スタンダードトライアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項2) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・スプリントトライアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項3) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・ロングディスタンストライアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項4) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・スタンダードデュアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項5) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・スプリントデュアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項6) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・ロング・ミドルディスタンスデュアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項7) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・アクアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項8) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・クロストライアスロン選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項9) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・アクアバイク選手権日本代表選手エントリー基準
- ・承認事項10) 2021ITU世界・アジアエイジグループ・ウィンタートライアスロン選手権日本代表選手エントリー基準

- ・承認事項 1 1) 2020 年度 JTU エイジランキング対象大会申請ガイドライン（案内）
- ・承認事項 1 2) 2020 年 JTU エイジランキングシステムの改定
- ・承認事項 1 3) 2020JTU ロングディスタンスエイジランキングシステムの改定

第 1 1 号議案) 国体関係

第 75 回国民体育大会（鹿児島）でのトップアスリートの予選会免除と参加資格の特例措置について、山倉和彦理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項 1) 国民体育大会トップアスリートの予選会免除の適用申請
前回リオ 2016 オリンピック大会開催年度（2016 年度）の第 71 回岩手国体と同様に、2020 年はオリンピックの開催年度であるため、東京 2020 オリンピック競技大会を「予選会免除対象大会（資料 1）」として申請を行う。
- ・承認事項 2) トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置の適用内容
「中央競技団体が定めた強化指定選手」を特例の対象選手とし、2019 年度と同様に、2020 年 JTU エリート強化指定選手制度と連携を行い、2020 年 3 月初旬を目途に対象選手を定める。

第 1 2 号議案) 指導者資格関係

JTU 指導者資格制度の変更（前回理事会承認）の補足について、山倉和彦理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項) 指導者資格制度の改定（研修会についての補足）
- ・説明骨子) 日本スポーツ協会の規程に沿い、2020 年度よりコーチ 1 専門科目の講習を「40 時間」から「20 時間」に変更となり、JTU 初級 18 時間修了者は、研修会（3 時間以上）の受講によって「20 時間修了」と認定される。現在、JTU 初中級指導者が資格を更新する際は論文の提出が必要だが、JTU が指定する研修会を受講していれば論文の提出は免除される。

第 1 3 号議案) 表彰・推薦関係

2019 年度各表彰推薦関係について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項) JTU 推薦候補者：
- ・日本スポーツ賞（高橋侑子選手）
- ・日本パラスポーツ賞（大賞：宇田秀生選手、新人賞：米岡聡選手）
- ・2019 ミズノスポーツメントール賞（矢島実トータルサポート委員会委員／トレ

一十一)

- ・2019 女性スポーツ賞（山倉紀子常務理事）

第14号議案) 専門委員会関連

アスリート委員会、セミナーフォーラム委員会、コーチ委員会の新任委員について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項) アスリート委員会委員候補、セミナーフォーラム委員会推薦委員、コーチ委員会推薦委員

第15号議案) 大会後援申請

新規大会の後援申請について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項1) のとじまトライアスロン大会2020（石川県）の後援

第16号議案) 認定記録会（制度変更検討方針）

JTU 認定記録会のリニューアルをワーキングチームで検討する方針について、大塚専務理事から説明、山根理事から補足説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項) JTU 認定記録会（制度変更検討方針）案
- ・説明骨子) JTU 認定記録会について、認定タイム・距離等の強化推進と発掘のために現行制度の変更の提案がオリンピック対策チームからあり、2020年10月に制度の変更を目標に以下のワーキングチームを形成し、検討を進める。
 - ・ワーキングチーム体制（担当理事：山根理事、オリチーム：村上コーチ、情報戦略：森谷委員長、パラチーム：菊池日出子コーチ、マルチチーム：中島リーダー、コーチ委員会：相澤委員長、アスリート委員会調整）
- ・主要意見) エイジグループ向け認定記録会を検討する提案。

[4] 報告と提案

1) 予算執行状況

2019年9月30日までの予算執行状況及び2019年度会員登録数（Web 登録のみ）、大会数について大塚専務理事から報告があった。

2) 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連

東京2020大会の準備状況について鈴木常務理事から報告があった。会場は当初計画どおりであるが、競技時間の変更に伴い、移動交通手段の始発前倒しや集合時間の

変更も検討していることが報告された。

3) 国際関連

和田理事より、国際連携関連事項について報告があった。

ルワンダ普及サポートプロジェクト、豪日ジュニアデベロップメント育成基金による日本ジュニアチーム派遣、ニュージーランドのフューチャーチャンピオンズ大会への派遣、ノルウェーのスポーツサイエンティストオラフ・ブー氏の招へい、ガンビアへの指導者派遣、韓国女子代表選手の合宿参加、JOCの海外指導者派遣フランス研修。

4) 大会事業関連

ITUオリンピッククオリフィケーションイベント（2019/東京）に係るSNS展開事例や広告換算値、メディア数、世界での放送実績、パラトライアスロン2019普及プロモーション等について、大塚専務理事から報告があった。

5) アメリカトライアスロンのセーフスポーツポリシーハンドブックの情報提供
アメリカトライアスロン（USAT）が発行する選手及び指導者の保護を目的としたセーフスポーツポリシーのハンドブック内容について共有がなされた。

6) ブロック関連報告

北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄のブロック理事から各ブロックの近況が報告された。また、今後ブロック会議に執行理事が出席し、ガバナンスコードについての説明を行うことが大塚専務理事より提案された。

7) 2020年大会・事業カレンダー

国内主要大会のスケジュールが大塚専務理事から説明された。

8) 事業関連予定

以下の事業について大塚専務理事から報告があった。

- ・パラトライアスロンミーティング（2019年12月7日）
- ・審判技術セミナー（SFTOの派遣報告会）（2020年1月13日）
- ・トライアスロン・パラトライアスロン研究会（2020年2月2日）
- ・2020年アジア選手権廿日市大会（2020年4月24日～26日）
- ・2021年関西ワールドマスターズゲームズ
- ・2026年名古屋アジア大会
- ・ウィンタートライアスロン（2020年1月にハルピンで開催）
- ・2019-2020マーケティング報告

- ・ JTU 公式サイトリニューアル
- ・ 2019－2020 デジタル戦略プラン
登録会員の満足度の向上のため、マイポータルの開設を検討中。
- ・ スポーツ振興くじ購入促進協力のお願い

9) アンチ・ドーピング関連

ドーピング防止規則違反事例と対応告知（JTU サイト掲載済）について、小林理事・アンチ・ドーピング委員長から報告された。

[5] 次回理事会と年間予定

1) 2019 年度（令和 1 年度）第 5 回理事会：

日時：2020 年 3 月 25 日（水）13 時開始予定

会場：JTU 事務局（東京都新宿区）

2) 2020 年度 JTU 理事会・定時社員総会（一部予定）

- ・ 臨時理事会：2020 年 5 月 15 日（金）

- ・ 第 1 回理事会：6 月 9 日（火）

- ・ 定時社員総会：6 月 24 日（水）

- ・ 第 2 回理事会：6 月 24 日（水）

- ・ 第 3 回理事会：9 月 16 日（水）

- ・ 第 4 回理事会：12 月 4 日（金）

- ・ 第 5 回理事会：2021 年 3 月予定

[6] 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、19 時 10 分に閉会した。

議事録署名人：

（岩城光英・議長・会長・代表理事）

（印） 2019 年 月 日

（荻原政吉・監事）

（印） 2019 年 月 日

（大塚眞一郎・専務理事）

（印） 2019 年 月 日

（園川峰紀・理事）

（印） 2019 年 月 日